

コグニザントと Benchling、協和麒麟の研究開発の加速に向けた パートナーとして選定される ～データ管理の統合、高度な自動化、AI 駆動型ワークフローにより、 研究ライフサイクルを変革～

コグニザント（本社：米国ニュージャージー州、CEO：ラヴィ・クマール S）は、協和麒麟株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：アブドゥル・マリック、以下：協和麒麟）の日本国内における研究拠点である東京リサーチパークおよび富士リサーチパークにて、クラウド型 R&D 情報プラットフォーム「Benchling（ベンチリング）」の導入および実装を支援することを発表しました。

Benchling は、米国 Benchling 社が提供する R&D のための AI プラットフォームです。研究者が構造化データの取得、AI モデルとエージェントの活用、そして創薬・開発を前進させるワークフローの自動化を、単一の環境上で行うことができます。今回のコグニザントによる導入支援を通じて、協和麒麟研究本部に所属する研究者は、実験の計画から実施、データの収集、さらには AI の活用に至るまでの一連の研究活動を、単一の環境上で効率的かつシームレスに遂行することが可能になります。本導入は、データ管理の一元化、分子設計プロセスの高度化、およびワークフローの自動化を通じて、拡大するパイプラインと高度化・多様化する研究ニーズへの対応を図り、R&D の生産性をさらに加速させるという、協和麒麟の強い姿勢を示すもので、コグニザントはそれを強力に支援します。

背景

協和麒麟は、骨・ミネラル、血液がん・難治性血液疾患、希少疾患など特定の疾患領域に強みを持つグローバル・スペシャリティーファーマです。同社は、世界 3 拠点の研究施設において、新たな先進的抗体技術や造血幹細胞遺伝子治療といった革新的モダリティを追求しています。「疾患サイエンス」と、その知見を起点に最善のソリューションを導き出す「創薬テクノロジー」を融合させ、Life-changing value の創出を加速しています。こうした取り組みをさらに推進するため、自動化や AI 機能を活用して最先端の科学研究を実行できるプラットフォームと、それを大規模に稼働・運用するための実装経験を有するパートナーを必要としていました。

今回の導入により、Benchling を活用した実験設計やデータ収集の自動化が期待され、創薬標的の特定から新薬の候補選定に至るまでの研究サイクル全体が飛躍的に加速します。Benchling は協和麒麟の実験機器と直接接続し、データは手入力を介さず、機器から構造化された検索可能な記録として蓄積されます。

Benchling は研究工程全体の連携を円滑化し、科学的な背景を深く理解するエージェント機能や解析機能によって、研究者の業務を支援します。さらに、分子設計、何年分もの実験履歴の照会、レポート作成、研究間の関連性分析などを効率的に行うことが期待されます。

コグニザントによる包括的な運用支援

コグニザントは Benchling 社と連携し、プラットフォームのセットアップからデータ移行、システム実装、さらに導入後の継続的な保守に至るまで、全工程を一貫して担います。また、研究規模の拡大に合わせてデータフローを最適化することで、研究者の生産性向上と、よりの確な意思決定につながることを期待されます。製品とサービスを一体の契約として提供することで、協和キリンは費用の見通しを立てやすくなると共に、多額の設備投資を抑えつつ、運用費として柔軟なコスト管理を行うことを目指します。

協和キリン株式会社 研究本部長 島田孝志氏コメント

コグニザントとのパートナーシップのもとで進める Benchling 導入により、研究現場におけるワークフローの標準化やデータの構造化を推進し、研究プロセス全体の高度化を実現することで、革新的な新薬を持続的に創出できる次世代の創薬基盤が確立されることに期待しています。

Benchling 共同創業者兼 CEO サジス・ウィクラマセカラ (Sajith Wickramasekara) 氏コメント

協和キリンは、医療における最も困難な課題に挑み、革新的な新薬を一日でも早く患者さんへ届けるため、研究プロセスの改革を力強く推進しています。Benchling は AI を日々の業務フローに実装し、長年にわたり蓄積された実験データのコンテキストと連携させます。医薬品の研究開発において、研究サイクルのスピードと品質は患者さんに直接的な影響を与えます。AI は実際の現場でその価値を証明してこそ初めて意味があります。

コグニザント インダストリー・ソリューション・リーダー兼シニア・バイス・プレジデント アルチャナ・ラマナクマールコメント

Benchling 導入における協和キリン様とのパートナーシップは、同社の科学的卓越性や創薬研究、ラボ運営への探求の再定義を支援し、ビジネスエンゲージメントの新たなベンチマークを確立するものです。私たちは、この革新的で未来志向のコラボレーションが、確固たる成功事例を生み出すと確信しています。

コグニザント ジャパン株式会社 代表取締役社長 渡辺 宣彦コメント

協和キリン様は、Benchling の導入とコグニザントとの連携により研究プロセスに革命を起こしています。これは、創薬の効率を大幅に向上させ、日本市場における同社の地位をさらに盤石にすることが期待される取り組みとなります。

コグニザントについて

コグニザント (NASDAQ: CTSI) は、AI Builder およびテクノロジーサービスプロバイダーとして、お客様にフルスタックの AI ソリューションを構築することで、AI 投資と企業価値を結ぶ架け橋となっています。業界、ビジネスプロセス、エンジニアリングに関する当社の深い専門知識を活かし、組織固有のビジネス環境をテクノロジー・システムに組み込みます。これにより、人間の可能性を最大限に引き出し、確かな成果を実現するとともに、急速に変化する世界においてグローバル企業が常に一歩先を行くための支援を行っています。

詳細については、www.cognizant.com もしくは@cognizant をご覧ください。

Benchling について

Benchling は、米国 Benchling 社が提供するバイオテクノロジーR&D 向けの業界をリードする AI プラットフォームであり、科学データの統合とワークフローの自動化により、創薬と開発を加速させます。先駆的なスタートアップから Merck、Moderna、Sanofi といったグローバルリーダーまで、世界 1,300 社以上に信頼されている

Benchling は、研究開発ライフサイクル全体にわたり、科学者がデータを取得、連携、活用できる単一の環境を提供します。[Benchling AI](#) により、構造化データに基づいたエージェントとモデルが科学的ワークフローの中で直接機能します。その結果、チームの生産性向上、より優れた分子の創出、そして画期的なブレイクスルーをより早く世界に届けることに貢献します。

協和キリンについて

協和キリンは、Life-changing な価値をもつ新しい医薬品や治療法を創出し、患者さんへ届けることに真摯に取り組んでいます。日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして、70 年以上にわたり医薬品の創出とバイオテクノロジーの革新に貢献してきました。現在、高いアンメットメディカルニーズを解決し得る次世代抗体医薬品および遺伝子細胞治療の開発に取り組んでいます。特に骨・ミネラル、血液がん・難治性血液疾患、希少疾患の治療法の研究開発に注力するとともに、また他領域で活用され得る研究成果についてはパートナーシップによる価値最大化を目指します。協和キリンは共通の価値観のもと、持続可能な成長を実現し、人々に笑顔をもたらすために尽力します。 <https://www.kyowakirin.co.jp/index.html>